

市 政 概 要

令和2年度
(2020年度)

奈良市議会事務局

は し が き

この市政概要は、発展する奈良市の市政全般にわたる主要事項を収録したものです。

内容等について不備な点もあるかと思いますが、本書が市政の概要をご理解いただく上で多少なりともお役にたてば幸いに存じます。

本書の編さんにあたり、ご協力、ご指導いただきました関係各位に對しまして心からお礼を申し上げます。

令和2年9月

奈良市議会事務局

奈良市章



「あおによし奈良の都は咲く花の薫ふがごとく今盛りなり」と万葉集に歌われた、ゆかり深い八重桜をかたどっています。

(明治36年5月5日制定)

奈良市民憲章

- 奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。
- 奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。
- 奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。
- 奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。
- 奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

(昭和43年11月3日制定)

非核平和都市宣言

世界諸国民の恒久平和の願いをよそに、核軍備の拡張は増強の一途をたどり、世界の平和や人類の生存に深刻な脅威を与えています。今や核兵器の全面禁止は、全人類の死活にかかわる最も重要かつ緊急な国際的課題です。

国際文化観光都市・奈良に住む我々は、この緑豊かな美しい自然や貴重な歴史的文化遺産を守り、次代に引き継ぐためにも、この地球上に再び“ヒロシマ・ナガサキ”の惨禍を繰り返させてはならないことを全世界の人々に強く訴え、ここに非核平和都市を宣言します。

そして他の自治体と協力して非核三原則の堅持並びにあらゆる核兵器の全面禁止と廃絶を求め、恒久平和を願う全世界の人々とともにその実現に努めるものです。

以上、決議します。

昭和60年12月23日

奈良市議会

福祉憲章

福祉の向上は、人間生活の基本的条件である。そのためには、社会生活が、市民相互の信頼と連帯によって成り立つことを忘れてはならない。

遠く平城京の昔に、福祉事業の歴史を持つ奈良市民は、今、新たな理念のもとに、子孫に誇り得る福祉都市を実現するため、この憲章を定める。

- みんなの健康を守り、働きやすく、住みよいまちをつくりましょう。
- すこやかな子どもを生み、立派な社会人になるよう、たいせつに育てましょう。
- からだの不自由な人をはげまし、自立できるよう、努力しましょう。
- 老人や身よりのない人に親切にし、安定と生きがいのあるくらしができるように、つとめましょう。
- おたがいが人権を重んじ、責任を自覚して、みんなのしあわせのために、力を合わせましょう。

(昭和47年9月15日制定)

福祉都市宣言

今日、国民の共通の願いである社会福祉の向上は、人間が、真に、人間たるにふさわしく、生きるための必須の条件である。

地方公共団体は、国の積極的施策とともに、独自に、社会福祉の充実に努めなければならない。わたしたち奈良市民は、すでに平城京のむかし、福祉事業が行われた歴史を想起し、人間尊重の新たな理念のもとにすすんで、福祉達成に力を注ぐことを重大な責務と考える。

わたしたちは、このような自覚と認識にたち、あえて「福祉天国」の理想をかかげ、明るい、ゆたかな、うるおいのあるまちづくりに前進したいと思う。

ここに、決意を新たにし、すべての市民とともに、奈良市を「福祉都市」とすることを宣言する。

(昭和47年9月15日制定)

「高齢者とともに歩むまち奈良」宣言

高齢者は、長年にわたって、それぞれの力を出しあい、あらゆる困難を乗り越えて今日の日本をつくり上げてこられた方々であります。

わたしたち奈良市民は、いにしへの奈良の都から受け継がれてきた福祉の心を大切にし、すべての人々が住んでよかった、長生きしてよかったと喜びあえるまちづくりを進めます。

そのためには、高齢者が敬愛され、健康で生き生きとした人生を送り、その豊かな体験と知恵を生かして、主体的・積極的に社会参加のできるまちをつくること、福祉のまち奈良の歩む道です。

美しい自然と豊かな文化財の見守るなかで、すべての人・すべての物・すべての出会いを大切にする優しく思いやりのある心が、家庭やとなり近所、社会にあふれ、若いも若きも幼きも、ともに手を取りあって潤いのある快適でやすらかな高齢者とともに明るく歩むまち奈良をめざすことを宣言します。

(平成6年9月15日制定)

奈良市の花・木・鳥

市制100周年を記念し、自然環境の保護と緑のまちづくりに対する市民意識と郷土意識の高揚を図る目的で、市のシンボルとしての花・木・鳥を制定しました。

(平成10年10月19日制定)

○花 ナラノヤエザクラ

「いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重に にほひぬるかな」(伊勢大輔)と古歌にも詠まれた八重桜。ナラノヤエザクラは、4月下旬から5月上旬にかけて白色ないし淡紅白色の花を咲かせ、花びらは22～79枚で、直径は4～4.5cmです。大正12年3月7日に東大寺知足院のナラノヤエザクラが国の天然記念物に指定されており、多くの人々に大変親しまれています。

○木 イチイガシ

古来より奈良盆地やその周辺にはイチイガシがよく生育し、イチイガシ林を形成していたと考えられています。今も春日大社境内には巨樹が多く、幹周り3mを超える30本以上が「春日大社境内のイチイガシ巨樹群」として市の天然記念物に指定されています。

○鳥 ウグイス

市内の平地から山地まで広く分布し、古くから親しまれ、古歌にも多く詠まれてきました。若草山東方の佐保川水源付近には水音が鶯の声のように聞こえるといわれる「鶯の滝」、春日野町の若草山山頂には鶯塚古墳などがあり、大変なじみがあります。

目 次

1 市 勢	
1. 沿 革	1
2. 市域の変遷	2
3. 人 口	3
4. 産業別就業者数（国勢調査）	6
2 議 会	
1. 議 会 議 員	7
2. 議会の公職	10
3. 議会の構成	14
4. 議会の運営	18
5. 議会の広報	27
6. 議会事務局	28
7. 議員の報酬等	29
8. 議会の予算	29
9. 議会図書室	30
3 危機管理	
1. 危 機 管 理	31
4 総合政策	
1. 歴代市長、副市長・助役及び収入役	35
2. 名誉市民・市民栄誉賞	37
3. 広 報	40
4. 奈良市第4次総合計画	41
5. 行政組織図	42
6. 事務部局別職員定数実数比較表等	48
7. 課別職種別職員配置表	49
8. 給 与	54
9. 旅 費	55
10. 特別職の職員等の給料及び報酬	56
11. 情 報 化	59
5 総 務	
1. 広 聴	61
2. 情報公開・個人情報保護	63
3. 市 庁 舎	67
4. 保健所・教育総合センター （はぐくみセンター）	69
5. ガバナンスの推進	70
6. 令和2年度の予算編成方針	71
7. 各会計別集計表	72
8. 令和2年度一般会計 当初予算款別構成表	74
9. 令和2年度一般会計 当初予算款別性質別経費分析表	76
10. 令和2年度特別会計 当初予算款別構成表	78
11. 一般会計の推移	80
12. 一般会計決算年度別実質収支等	81
13. 一般会計決算年度別財源表	81
14. 地方交付税	82
15. 年度別一般会計 当初予算経費別市民1人当たり額表	82
16. 市 債	83
17. 財 産	84
18. 行財政改革	87
19. 市 税	89
20. 滞 納 整 理	95
21. 選 挙	98
6 市 民	
1. 戸籍及び住民基本台帳等	107
2. 生 活 環 境	113
3. 新斎苑整備事業	114
4. 協働の推進	115
5. 地域活動推進	118
6. 文 化 振 興	124
7. スポーツの振興	133
8. 人 権 政 策	146
9. 男女共同参画	148
10. 出張所、行政センター	150
7 福 祉	
1. 福 祉 都 市	151
2. 福 祉 政 策	151
3. 生活困窮者自立支援	153
4. 障 害 福 祉	155
5. 生 活 保 護	164
6. 高 齢 福 祉	165
7. 国民健康保険	174
8. 国 民 年 金	177
9. 福 祉 医 療	178
10. 介 護 保 険	180
11. 奈良市社会福祉協議会	186
12. 市内社会福祉施設一覧	189
8 子ども未来	
1. 子 育 て	191
2. 母 子 福 祉	195
3. 保育所・幼稚園・こども園	197
4. 児 童 館	208
9 健康医療	
1. 健 康 医 療	209
2. 医 療 政 策	210
3. 医 療 事 業	212
4. 健 康 増 進	215
5. 母 子 保 健	218
6. 保 健 ・ 環 境 検 査	225

7. 保健衛生	226
8. 保健予防	229

10 環 境

1. ごみ処理	235
2. ごみの減量化・再資源化	242
3. 土地改良清美事業	245
4. 環境美化	247
5. し尿処理	248
6. 一般廃棄物処理実施計画	251
7. 生活排水（し尿・浄化槽汚泥） 処理実施計画	269
8. 環境保全	272
9. 産業廃棄物対策	279

11 観光経済

1. 観 光	285
2. 国際・国内交流	294
3. 商 工	296
4. 労 政	305
5. 農 業	308
6. 林 業	312
7. 農業委員会	314

12 都市整備

1. 都市計画	315
2. 市街地整備	325
3. 景 観	328
4. 都市政策	335
5. JR奈良駅南特定土地区画整理事業	336
6. 近鉄西大寺駅南土地区画整理事業	336
7. 公園緑地	337
8. 開発指導	355
9. 建築指導	356
10. 住 宅	358

13 建 設

1. 土木管理	365
2. 道路維持	366
3. 道路建設	367
4. 河 川	368
5. 地籍調査	369

14 上下水道

1. 水道事業	371
2. 都祁水道事業	390
3. 月ヶ瀬簡易水道事業	392
4. 下水道事業	394

15 消 防

1. 消防の概要	401
2. 消防署、防災センター	404
3. 職員の配置状況	407

4. 消防車両等の配備状況	408
5. 消 防 団	409
6. 消防水利状況	410
7. 防火・防災訓練と主な行事	411
8. 救急活動	412
9. 火災概況（前年との比較）	414
10. 通信施設	415

16 教 育

1. 奈良市教育目標	417
2. 教育委員会	417
3. 教育関係予算	417
4. 教 職 員	418
5. 教育総務	419
6. 教育政策	425
7. 学校教育	426
8. 保健給食	430
9. 教育センター	432
10. 人権教育の推進	433
11. 青少年健全育成	434
12. 生涯学習	437
13. 公 民 館	441
14. 放課後児童健全育成事業 （バンビーホーム）	446
15. 図 書 館	448
16. 文 化 財	452

17 市が出資する主な団体

1. 株式会社奈良市清美公社	469
2. 奈良市市街地開発株式会社	470
3. 公益財団法人奈良市生涯学習財団	471
4. 一般財団法人奈良市総合財団	472